

普及活動情勢報告（令和6年10月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

新品種栽培技術の確立に向けて ～露地シシトウ現地検討会～

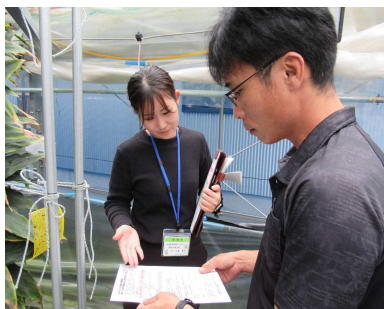


普及指導員が‘NP-401’の栽培を説明

9月19日、JA土佐くろしお園芸部露地ししとう部会が、須崎市で‘NP-401’の現地検討会を開催し、生産者16人が参加しました。農業改良普及課は、病害虫対策と適正施肥について説明を行いました。生産者から「病害虫対策は、定期的な予防散布を実践している」という声や「適正施肥量はどのくらいか」「‘NP-401’の整枝方法はどのようにすると良いか」という質問があり、着果数に応じた施肥量や草勢をコントロールするための整枝についてアドバイスしました。

今後は、JAと連携して、露地シシトウの収量、品質の向上に向けた支援を行います。

ミョウガの新病害を予防しよう！ ～葉鞘褐色腐敗病防除を周知～



資料の説明をする職員

10月3日、須崎市、中土佐町の新規就農者5人に、ミョウガ葉鞘褐色腐敗病の予防策として、ベンレート水和剤の使用法や天敵への影響、防除例等について資料をもとに周知しました。

これは、10月2日に特例措置としてベンレート水和剤の使用が許可されたことを受けての取組みで、資料配付を通じて、生産者の防除意欲を高めることができました。

10月9日には、SAWACHIニュースに掲載し、管内を含む県下全域の生産者にも周知を図りました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、葉鞘褐色腐敗病防除の周知を図ります。

イチゴ炭そ病抵抗性品種‘かおり野’を紹介 ～勉強会開催～



「かおり野」について説明する普及指導員

10月3日、イチゴ生産者の要請を受けて、JA土佐くろしお久礼支所で、炭そ病抵抗性を持つ品種‘かおり野’の勉強会を開催し、生産者2戸が参加しました。

農業改良普及課から‘かおり野’の特性や、導入にあたり許諾にかかる注意点を説明しました。生産者から許諾を受けるための手順や苗の購入先などの質問があり、1戸が許諾を得て栽培を開始する手続きを進めていくこととなりました。

農業改良普及課は、今後も生産者の要請に応じて、高温対策や病害虫対策などの情報提供を行います。

試作品の完成に向けて ～6次産業化セミナー実践コースⅢ～



試作実習を実施

10月4日、四万十町農村環境改善センターの調理室で6次産業化セミナー実践コースⅢが開催され、津野町の「は山んば」1人が参加して試作実習が行われました。

農業改良普及課は、原価計算の必要性や原価計算に必要な物などについて説明しました。

参加者から、「自分の家で採れたものを使った場合も材料代とするのか」との質問や「きちんと原価計算をして価格設定をしていきたい」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、パッケージと価格の設定を支援します。

地域計画の策定に向けて ～須崎市浦ノ内地区座談会～



生産者の意見を聞き取る普及指導員

10月11日、須崎市が浦ノ内公民会で、地域計画の目標地図策定に向けた座談会を開催し、生産者など9人と関係機関職員10人が参加しました。

農業改良普及課は、参加者から農地の所有者や耕作者を聞き取り、地図に書き込む作業と、5年後、10年後の農業の担い手についての話し合いを支援しました。

参加者からは「5年間は自分は営農を続ける」、「地図で見ると後継者に引き継がれている農地もあるが、荒れている農地もある」などの発言がありました。

須崎市は全5地区の座談会が終了し、今後は地域計画の内容の検討に入ります。農業改良普及課は、今後も地域計画の策定を支援します。

水稻の有機栽培推進のために ～水稻有機栽培先進地研修会～



積極的に質問する普及指導員

10月15日、徳島県小松島市「みはらしの丘あいさい広場」で、BLOFインストラクターを講師として水稻有機栽培の研修会を開催し、関係機関職員2人と普及指導員2人が参加しました。

農業改良普及課は、参加者とともに、県が戦略的品目に位置付けている水稻の有機栽培の情報収集を行いました。

参加者は、有機栽培米の栽培技術、販売単価・販売先、使用している資材などについて積極的に質問して栽培と販売のノウハウを学び、「試験的に取り組んでみたい」との声が挙がりました。

今後は、須崎地域有機農業推進協議会で今回の研修内容を共有し、水稻有機栽培の推進を図ります。

米ナス・小ナス栽培の魅力は？ ～梶原高校で出前授業を開催～



米ナス・小ナスについて説明をする普及指導員

10月17日、津野山地域営農連絡協議会が梶原町で、高知県立梶原高等学校農業コース2年生を対象に米ナス・小ナスについての出前授業を開催し、生徒11人が参加しました。

農業改良普及課は、津野山地域の米ナス・小ナスの栽培の歴史や栽培方法等について説明し、ほ場での米ナス収穫・出荷調製作業実習、家庭科室での米ナス料理の試食実施を支援しました。

参加者からは、「米ナスの果実が収穫できる大きさに育つのはどれくらい時間がかかるのか」といった質問や「ユズの出前授業が楽しみ」といった声がありました。

今後は、11月にユズについて、12月に就農や農業関係の進学についての出前授業を開催します。